

「農業と暮らしを結ぶサイエンス」

時刻	プログラム	内容
10:00－10:10	オープニング	今日一日のプログラムや担当者、会場の紹介
10:10－12:20	列島リレー 各研究所 紹介	全国各地にある農研機構の研究所を紹介していきます。研究員が開発した放牧している子牛の安否確認法やトマト用接ぎ木装置、普段は公開していない特別展示室など、実際の現場からリアルタイムでお届けします。
12:20－13:10	生産現場の課題コーナー 水と稲作について 「水管理の自動化」 「カワヒバリガイ」	「水管理の自動化」 水田の水管理にICTとセンシング技術を組み込むことで、自動化に加えて、水位データや気象データなどを活用した高度な水管理を可能とするシステムを紹介します。
		「カワヒバリガイ」 農業用水に侵入して問題を引き起こす特定外来生物、カワヒバリガイの現状と、これを検知・制御する技術をご紹介します。早期発見と素早い対策の実施に役立ちます。
13:10－13:35	研究者による特別講座 「アズキの栽培化は日本が起源」	ジーンバンクが収集したアズキを詳細にゲノム解析することによって、アズキの栽培化が縄文時代の日本で始まったことを明らかにしました。
13:35－13:55	農研機構、どうみえてる？	アンケート機能を通じて、農研機構へのご意見・ご期待をお聞きます。みなさんの声が、農研機構の未来をつくるヒントになるかもしれません。
13:55－14:00	クロージング	

※ プログラム（時間・題目）は変更する場合があります